同志社大学東三河会は、東三河在住の同級生（女子大の同級生も含む）によって構成されており、１９７７年（昭和５２年）に発足しました。

定例の活動は冬期に行う新年懇親会と、夏期に行う総会の年２回の活動を行っています。毎回様々なゲストをお迎えし、会の前半に講演会や音楽ライブを催し、後半は久しぶりに会う会員同士、美味しい食事やお酒を楽しみながら近況報告をする等和やかな時間を過ごしています。今年度は新型コロナウイルスの影響により、新年懇親会は実施できませんでしたが、総会は開催する予定です（10/29）。約２年ぶりの開催ということで、会員一同、久しぶりの再会を楽しみにしています。

当会事務局では、この２年間新型コロナウイルスの感染拡大という先の見えない状況の中、来るべき開催に備え、今後の活動に関する意見交換や懇親を兼ねて定期的に打ち合わせを実施してきました。メンバー同士「早く皆で集い、円陣を組み、恒例のカレッジソング・同志社チアーを大声で歌いたい」といった想いを共有し、次回開催に向けて準備してきました。次の総会は、前回開催から２年以上が経過していることから、この期間に新たに東三河地域にこられた同志社大学 OB・OG の方がいらっしゃることを思うと、新入会員を迎え、良い再スタートを切れることを確信しています。

当会としては、引き続き情勢を注視しつつ、開催に向けて準備を進めて参ります。今後も幅広い年代層の会員の皆さまに喜んでいただく活動ができるように尽力して参ります。ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

※写真はコロナ前の総会写真（左：ご出席された愛知支部　小栗支部長
右：バンド演奏）